

第3回 放射線災害・医科学研究拠点カンファランス

日時:平成30年6月2日(土)13:00-18:00

場所:長崎大学熱帯医学研究所グローバルヘルス研究棟 1階大セミナー室

【プログラム】

受付

12:20-12:50

開会の辞 長崎大学原爆後障害医療研究所 宮崎 泰司

13:00-13:05

分類1 低線量被ばく影響とリスク研究

座長: 光武 範吏 (長崎大学原爆後障害医療研究所 放射線リスク制御部門
放射線災害医療学研究分野)

(1) ゲノム安定性とオートファジー 13:05-13:18

川端剛¹、Tao-Sheng Li¹、吉森保²

¹長崎大・原爆後障害医療研究所・幹細胞生物学研究分野、²大阪大・医学系研究科

(2) Role of pre-mRNA splicing factors in homologous recombination of DNA double-strand breaks 13:18-13:31

Moe Moe Han, Miyako Hirakawa, Motohiro Yamauchi, Naoki Matsuda

Department of Radiation Biology and Protection, Atomic Bomb Disease Institute,

Nagasaki University

(3) Detection of chromosome aberrations after low dose irradiation *in vitro* and *in vivo* 13:31-13:44

Lin Shi¹, Jiying Sun¹, Kazuo Awai², Mari Ishida³, Takafumi Ishida⁴, Satoshi Tashiro¹

¹Department of Cellular Biology, RIRBM; ²Department of Diagnostic Radiology, Hiroshima University Hospital; ³Department of Cardiovascular Physiology and Medicine, Graduate School of Biomedical & Health Sciences, Hiroshima University;

⁴Department of Cardiovascular Medicine, Fukushima Medical University

(4) 次世代シーケンサを用いた低線量放射線影響研究 13:44-13:57

金井昭教¹、清水なつみ²、河合秀彦³、長町安希子⁴、稲葉俊哉¹

¹広島大学原爆放射線医科学研究所・がん分子病態研究分野、²理研 BDR、

³広島大学大学院医歯薬保健学研究科、

⁴広島大学原爆放射線医科学研究所・附属放射線先端医学実験施設

(5) 低線量率放射線被ばくによる造血システムの機能障害 13:57-14:10

大野芳典¹、竹立恭子¹、山藤幹茂子¹、郭芸²、菅野雅元²、白須直人³、安永晋一郎³、大坪素秋⁴、松浦伸也⁵、瀧原義宏^{1,6}

¹広島大学原爆放射線医科学研究所・幹細胞機能学研究分野、²広島大学大学院医歯薬保健学研究科・免疫学、³福岡大学医学部・生化学、⁴別府大学食物栄養科学部・発酵食品学科、⁵広島大学原爆放射線医科学研究所・放射線ゲノム疾患研究分野、

⁶日赤・大阪府赤十字血液センター

- (6) 動物モデルを用いた低線量・低線量率発がんリスク評価 14:10-14:23
 笹谷めぐみ¹、土居主尚²、神谷研二¹
¹広島大学原爆放射線医科学研究所・分子発がん制御研究分野、
²量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所
- (7) ゼブラフィッシュ初期発生における放射線応答の解析 14:23-14:36
 本庶仁子、一戸辰夫
 広島大学原爆放射線医科学研究所・血液・腫瘍内科研究分野
- 休憩 14:36-14:50

分類 2 放射線障害医療

座長：一戸辰夫（広島大学原爆放射線医科学研究所・血液・腫瘍内科研究分野）

- (8) マウス甲状腺におけるオートファジーの役割 14:50-15:03
 蔵重智美¹、松山睦美²、中島正洋²、嶋村美加¹、永山雄二¹
¹長崎大学 原爆後障害医療研究所 分子医学研究分野、²同 腫瘍・診断病理学
- (9) ヒト培養細胞の染色体数維持機構に関する研究 15:03-15:16
 松浦伸也¹、Silvia Natsuko Akutsu¹、大橋博文²、宮本達雄¹
¹広島大学原爆放射線医科学研究所・放射線ゲノム疾患研究分野、
²埼玉県立小児医療センター・遺伝科
- (10) 爆心地周辺被爆者の子孫における新規一塩基変化の検出 15:16-15:29
 蓬萊真喜子¹、三嶋博之²、林田知佐²、木下 晃³、中根允文³、松尾辰樹³、鶴田一人⁴、
 柳原克紀⁴、佐藤信也¹、今西大介¹、今泉芳孝¹、波多智子¹、宮崎泰司¹、吉浦孝一郎²
¹長崎大学原爆後障害医療研究所血液内科学、
²長崎大学原爆後障害医療研究所人遺伝学、
³長崎原子爆弾被爆者対策協議会、⁴長崎大学歯薬学総合研究科病態解析・診断学
- (11) 原爆被爆者および非被爆者の骨髄異形成症候群の研究 15:29-15:42
 宮崎泰司¹、蓬萊真喜子¹、鳥山愛生¹、松尾真稔¹、田口正剛¹、糸永英弘¹、佐藤信也¹、
 澤山靖¹、波多智子¹、吉浦孝一郎²、岩永正子³
¹長崎大学原爆後障害医療研究所血液内科学、
²長崎大学原爆後障害医療研究所人類遺伝学、
³長崎大学医歯薬学総合研究科フロンティア生命科学
- (12) 甲状腺乳頭癌における TERT 遺伝子の発現に関する検討 15:42-15:55
 松瀬美智子¹、Vladimir Saenko²、田中彩³、鈴木啓司¹、光武範吏¹、山下俊一^{1,2}
 長崎大学原爆後障害医療研究所 放射線リスク制御部門
¹放射線災害医療学研究分野、²放射線分子疫学研究分野
³長崎大学大学院 医歯薬総合研究科 医療科学専攻 腫瘍外科学
- (13) 原子力災害医療派遣チーム研修の現状と今後の展望 15:55-16:08
 廣橋伸之^{1,2}、神谷研二^{1,2}
¹広島大学原爆放射線医科学研究所 ²広島大学緊急被ばく医療推進センター

休憩 16:08-16:25

分類3 放射線災害の社会影響と放射線防護

座長:高村 昇 (長崎大学原爆後障害医療研究所 国際保健医療福祉学研究分野)

- (14) SNP association with risk for sporadic papillary thyroid carcinoma 16:25-16:38
in Kazakh population: association with clinicopathological pattern and
SNP-SNP interactions.
Zhanna Mussazhanova¹, Tatiana Rogounovitch², Vladimir Saenko³, Ainur Krykpayeva⁴,
Maira Espenbetova⁴, Katsuya Matsuda¹, Shunichi Yamashita³, Masahiro Nakashima¹
¹Department of Tumor and Diagnostic Pathology, Nagasaki University;
²Department of Global Health, Medicine and Welfare, Nagasaki University;
³Department of Radiation Molecular Epidemiology, Nagasaki University;
⁴Semey State Medical University, Semey, Kazakhstan
- (15) ヨウ素 131 を用いた内照射療法に伴う、治療病室の環境放射能汚染 16:38-16:51
工藤 崇¹、井手口怜子¹、西広大¹、福田直子¹、三浦美和²、松田尚樹²
¹長崎大学原爆後障害医療研究所 アイソトープ診断治療学研究分野
²長崎大学原爆後障害医療研究所 放射線生物・防護学研究分野
- (16) 科学研究のアウトリーチについての一考察:原爆被害から放射線災害に向けて 16:51-17:04
久保田明子、杉原清香、田代聡
広島大学原爆放射線医科学研究所・附属被ばく資料調査解析部
- (17) 住民の健康影響予測と正当化の原則に基づく避難措置に関する考察 17:04-17:17
保田浩志、廣田誠子
広島大学原爆放射線医科学研究所・線量測定・評価研究分野
- (18) スクリーニングで発見された若年者甲状腺がんの成長パターンの解析 17:17-17:30
緑川 早苗¹、村上 道夫²、大津留 晶¹
福島県立医科大学医学部 ¹放射線健康管理学講座、²健康リスクコミュニケーション学講座
- (19) 福島県川内村・富岡町での復興支援に資する研究の展開 17:30-17:43
高村 昇、折田真紀子、平良文亨
長崎大学原爆後障害医療研究所 国際保健医療福祉学研究分野(原研国際)
- まとめと閉会の辞 広島大学原爆放射線医科学研究所 松浦伸也 17:43-17:53